

日本保険薬局協会 薬剤師アメリカ研修 報告

各務原店 田中 照久

2012年10月7日から10月14日まで行われました、日本保険薬局協会 薬剤師アメリカ研修へ参加して参りました。参加者は薬剤師28名、通訳1名、中には何回か海外研修の経験者の方もいらっしゃり、とてもスムーズに進行し、内容も充実した内容でも刺激になるものばかりでした。

まず初日から3日間は午前中ワシントン大学での講義、座学、ディスカッション等行い、午後は実際に地元のドラッグストア、調剤薬局を数店舗見学、という内容でした。

大学での講義ではアメリカでの薬学部の学習、実習内容やアメリカの保険事情、薬剤師の実際の実務内容等講義していただきました。中でもアメリカの保険事情については、日本との違いが大きく、個人的には大変興味深い内容でした。

初日のドラッグストア見学では全米最大のチェーン薬局、Walgreen 薬局を見学させていただきました。Walgreen 薬局の売りとしては、安さ、日用用品の品揃えの多さ、が1番、とのことでした。アメリカでは調剤料が自由競争で自分で決めて良いという事で、Walgreen では調剤料は他の薬局と比べてかなり安くしており、その他の雑貨で儲けを出す、という方針で営業しているそうです。

2日目はFAXの調剤受付に特化した薬局で Kelly-Ross 薬局を見学させていただきました。この薬局では調剤の機械化が進んでおり、一包化など調剤が非常にスムーズに、ミスが少なく行われているそうです。FAXで送られてくる処方せんの内容も薬の種類が多く、複雑なものが多いそうで他の薬局では時間がかかる、という患者さんが主に利用するそうでした。

3日目は個人の調剤薬局の見学で Kattermans Sandpoint 薬局を見学させていただきました。この薬局は地域密着で調剤料は他のドラッグストアに比べるとやや高いものの、経営者兼薬局長のステファーさんを慕って患者さんが集まる、という薬局でした。慕われる理由は親切、丁寧、患者さんを思う事、が一番だそうです。

4日目よりラスベガスへ移動、ここでも Walgreen 薬局のラスベガス支店の見学をさせていただきました。やはり日用用品を多く取り扱っており、印象的だったことは規模の大きさでした。広さが日本のショッピングモール程の広さで、日用品で揃わないものはほとんど無いそうです。

5日目は自由行動で観光させていただき、6日目より無事に帰国して参りました。

今回のアメリカ研修では、アメリカでの薬剤師の実務、店舗の実際を勉強させてもらい大変勉強になりました。中でもアメリカの保険システムや処方せんの再処方（リフィル）等、今後日本で変化していくかもしれない内容を実際に見させてもらい、体験出来たことは自分の中の経験として非常に大きなものになりました。今後、今回の様々な経験を店舗で活かしていけるよう、より一層努力していきます。この度は貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

各務原店 田中 照久